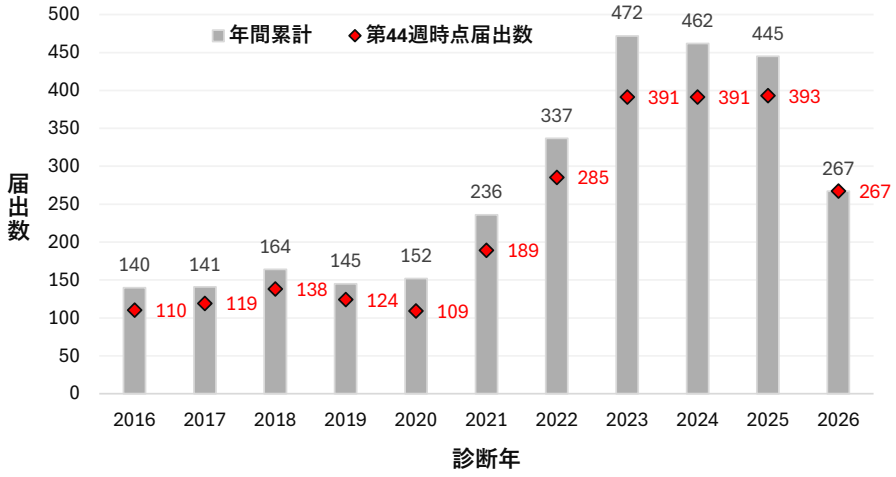
【今週の注目疾患】

≪梅毒≫

2026 年第 44 週に県内医療機関から 3 例の届出があり、累計 267 例となった。2021 年以降届出数は顕著に増加しており、引き続き発生動向に注意が必要である（図）。

図：2016 年から 2026 年第 44 週までの千葉県の梅毒診断年別届出数 n=2960



2026 年に届出のあった 267 例の概要は以下のとおり。

性別は、男性 180 例（67%）、女性 87 例（33%）であった。

年代別は、男性では、30 代が 52 例（29%）で最も多く、次いで 40 代が 39 例（22%）、20 代が 36 例（20%）と続いた。女性では、20 代が 49 例（56%）と最も多く、次いで 10 代が 12 例（14%）、30 代が 11 例（13%）であった。

病型別は、男性では、早期顕症梅毒第Ⅰ期（以下、第Ⅰ期）が 83 例（46%）と最も多く、次いで無症状病原体保有者 50 例（28%）、早期顕症梅毒第Ⅱ期（以下、第Ⅱ期）41 例（23%）、晩期顕症梅毒 5 例（3%）であり、先天梅毒が 1 例確認されている。女性では、第Ⅱ期 33 例（38%）、無症状病原体保有者 32 例（37%）、第Ⅰ期 21 例（24%）、晩期顕症梅毒 1 例（1%）であり、先天梅毒はなかった。

感染経路別は、男性では、感染経路に性的接触と記載があった症例（157 例）のうち、異性間性的接触が 110 例（70%）で最も多く、同性間性的接触は 30 例（19%）であった。女性では、感染経路に性的接触と記載があった症例（78 例）のうち、異性間性的接触が 63 例（81%）で最も多く、同性間性的接触は 2 例（3%）と少数であった。

女性 87 例の届出例のうち、妊娠有りは 11 例（13%）であった。妊娠症例の概要は以下のとおり。年代別は、20 代が 10 例（91%）、30 代が 1 例（9%）で、20 代が大半を占めていた。病型別は、無症状病原体保有者が 10 例（91%）、第Ⅱ期が 1 例（9%）であった。診断時の妊娠期別は、妊娠初期（0～13 週以下）が 4 例（36%）、中期以降（14 週以降）が 7 例（64%）であった。

梅毒は梅毒トレポネーマ（*Treponema pallidum subspecies pallidum*）を病原体とする細菌感染症である。菌を排出している感染者との性器や肛門、口腔などの粘膜の接触を伴う性行為により感染する[1,2,3)]。

予防方法は、感染者との性行為を避けることが基本となるが、病変の存在に気づかない場合もあるため、コンドームを適切に使用することが感染リスクの低減につながる。不特定多数の人との性的接触は感染リスクを高めることから、回避することが望ましい[1,2,3)]。

治療を開始しても、医師が安全と判断するまでは、性交渉等の感染拡大につながる行為は控える。また、治療が完了しても再度感染する可能性があることに注意が必要である[1,2,3)]。

妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通じて胎児に感染し、流産、死産、先天梅毒を起こす可能性がある。先天梅毒は、生後まもなく皮膚病変や肝脾腫などを認める早期先天梅毒と、生後約 2 年以降に目や耳に症状を呈する晩期先天梅毒がある。先天梅毒の予防では、妊婦健診におけるスクリーニング検査、早期検査、早期治療が重要である。感染した妊婦への適切な抗菌薬治療により、母子感染のリスクを下げることができる[1,4)]。

- 梅毒は早期発見・早期治療をすることで治すことができる感染症です -

- **早期発見・早期治療、 そして再感染予防のためにも、パートナーもともに検査を受けることが推奨されます。**
- **県では保健所等において無料・匿名の検査を実施しています。**
- **令和 8 年 11 月 29 日（日）に実施される休日街頭 HIV 検査において梅毒の検査を受けられます（予約不要・先着順と事前予約のハイブリッド方式で実施）。詳細は県ホームページ等をご確認ください[5, 6)]。**

■参考・引用

1)国立健康危機管理研究機構：梅毒
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/syphilis/index.html
2)厚生労働省：梅毒に関する Q&A
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/syphilis_qa.html
3)厚生労働省：梅毒
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html
4)国立健康危機管理研究機構： IASR 44(12), 2023【特集】梅毒 2023 年現在
https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/44/526/article/020/index.html
5)千葉県：千葉県内のエイズ等相談・検査
https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/aids/soudan.html
6)千葉県：休日街頭 HIV 検査について
https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kansenshou/kyuujitu.html